

シラバス

教 科	科 目	単 位 数	学 年	コ ー ス	組
外 国 語	英語コミュニケーションⅢ	5	3	文系NP	9

教科書	ELEMENT English CommunicationⅢ(啓林館)	副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・Praxis(Z-KAI) ・Listening Trial ver.3(文英堂) ・共通テスト読解トレーニング 10min.(エミル出版) ・Ready to Present(NATIONAL GEOGRAPHIC LERNING)

科目の目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、5つの領域において言語活動及びこれら結び付けた
	統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション
	を図る資質・能力を養う。

科目の概要	教科書のトピックを中心に、言語活動を通じて積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
	週1時間はALT主導のもとReady to Presentを用いて英会話の授業を行い、実践的なコミュニケーション能力を養う。
	またリスニング教材を使用し共通テストに向けたリスニング能力を養う。長文読解教材も使用し、思考力や表現力を養う。

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」	⑦「協働力」 ⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、情報や考え、気持ちなどを聞いたり読んだりして内容を捉え、論理性に注意して話したり書いたりして伝え合う技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、必要な情報を聞き取りたり読み取ったりして、話し手の意図や概要、要点を捉えている。また、それらについて、論理性に注意して書いたり話したりして伝えている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評 価 の 方 法	・定期試験 ・小テスト	・英語による言語活動(発表等) ・課題/活動への取り組み ・定期試験	・課題提出状況 ・単元ごとの振り返り
定期試験(4回),課題や言語活動などへの取り組み状況,授業時の小テスト等を総合的に判断して評価する。			

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	ELEMENT:Lesson1 ~Energy~ エネルギー効率の良い乗り物とは？ 各乗り物のエネルギー効率と高速鉄道の優位性 近年の状況とアメリカでの選択 Praxis STAGE1-1 STAGE1-2 【1学期 中間試験】 5月18日～21日	・エネルギーをテーマに、さまざまな言語活動を通して資質・能力を養う。 ・各交通手段のエネルギー消費量や利便性を比較した説明文を読み内容を理解する。 ・数値や統計データについて学んでいく。 ・人工言語を使った実験について学んでいく。
	ELEMENT:Lesson2 ~Environmet and Life~ 筆者がオランウータンに出会ったエピソードを基に、「序論→本論→結論」の論理展開を読み取る。 ELEMENT:Lesson3 ~Health and Life~ 睡眠の重要性の認識,睡眠不足の問題,睡眠の重要性 ある実験の紹介,研究の内容,睡眠不足の警鐘 Praxis STAGE1-3,1-4 【1学期 期末試験】 7月1日～7日	・環境と生活をテーマに、さまざまな言語活動を通して資質・能力を養う。パーム油生産のために熱帯雨林の伐採と絶滅の危惧に瀕しているオランウータンとの関係について読み取る。 ・健康と生活をテーマに、さまざまな言語活動を通して資質・能力を養う。睡眠に関して異なる観点から書かれた2つの英文を読み比べ、共通する部分や異なる部分を整理して理解する。 ・STEM教育について学んでいく。 ・詩をはじめとする文学について学んでいく。
2 学 期	ELEMENT:Lesson4~Humans and Technology~ 「インターネットは我々の記憶力を損なっている」「何を覚えているかを変えているだけ」をテーマに,序論→本論→結論の構成展開を読み取る。 ELEMENT: Lesson5~Diversity~ 最初の絵文字,ユニコードコンソーシアム,絵文字の選定,絵文字が表すアイデンティティー Praxis STAGE1-5,1-6 【2学期 中間試験】 10月13日～16日	・人間と科学技術をテーマに、さまざまな言語活動を通して資質・能力を養う。インターネットと記憶に関して異なる観点から書かれた2つの英文を読み比べ、相違点を整理して理解する。 ・多様性をテーマに、さまざまな言語活動を通して資質・能力を養う。絵文字と多様性の英文を読み多様性が尊重された社会の在り方について考える。 ・イスラム教徒が設立したHP、食と人間の行動等
	ELEMENT:Lesson6~Education~ テーマに対して行われた実験を基に、「序論→本論→結論」の論理展開を読み取る。 ELEMENT:Lesson7~Miracles of Nature~ 序論→本論:研究の手順・結果と発見・考察→結論と将来への研究 Praxis STAGE2-1,2-2 【2学期 期末試験】 12月1日～7日	・教育をテーマに、さまざまな言語活動を通して資質・能力を養う。どのようにすればより多くの利益を得られるかという実験授業の様子を読み取る。 ・自然の奇跡をテーマに、さまざまな言語活動を通して資質・能力を養う。卵の形を比較した研究結果についての英文を読み、実験の要素や手順を理解する。 ・共有デバイスがある環境の中で生活することについて学んでいく。 ・前向きな感情がもたらすメリットについて学んでいく。
3 学 期	特別編成授業 生徒の進路および希望に合わせて受験講座と教養講座を設置する。	受験講座：大学入試問題に対応できる力を身につける。 教養講座：各自の興味・関心に合わせて、さまざまな分野の学習体験を通じて教養を深める。